

公益財団法人 循環器病研究振興財団
平成 31 年度事業報告書

平成 31 年度においては、助成事業、普及支援事業、調査研究事業の 3 分野の事業を行った。

【1】助成事業

(62,482 千円)

1. 公募研究助成

(18,000 千円)

(1) 公募自由課題研究助成

(7,000 千円)

「山内進循環器病研究助成」

【研究テーマ】(自由課題) 循環器病に関する臨床、疫学、トランスレーショナル医学の研究

【応募数: 35 課題】

	研究課題	研究者	所属・職名	助成交付額
1	洞不全症候群の遺伝学的背景の解明	大野 聖子	国立循環器病研究センター 分子生物学部 部長	3,500 千円
2	内臓脂肪蓄積が早期心機能障害に与える影響；肥満関連心疾患の病態機序解明—スペックルトラッキング心エコー法による検討	中西 弘毅	東京大学 循環器内科 助教	3,500 千円

《研究発表会開催予定》 令和 2 年 11 月 19 日 (木) (会場：国立循環器病研究センター)

(2) バイエル循環器病研究助成

(10,000 千円)

【研究テーマ】循環器疾患における Precision Medicine

【応募数: 46 課題】

	研究課題	研究者	所属・職名	助成交付額
1	ブルガダ症候群における致死性不整脈発症に関連するゲノム領域の特定と個別化リスク予測法の樹立	石川 泰輔	国立循環器病研究センター 創薬オミックス解析センター ゲノム系解析室長	2,500 千円
2	難治性循環器疾患において多施設連携ネットワークを用いて Precision Medicine を人工知能によって実現する研究	片岡 雅晴	慶應義塾大学 医学部内科学(循環器) 専任講師	2,500 千円
3	冠動脈疾患関連遺伝子リスクスコアによる個別化医療実践への試み	多田 隼人	金沢大学附属病院 救急部・循環器内科 助教	2,500 千円
4	最先端テクノロジーを駆使した本邦心不全患者における Precision Medicine プラットフォーム構築	永井 利幸	北海道大学大学院医学研究院 循環病態内科学教室 講師	2,500 千円

《研究発表会開催予定》 令和 2 年 9 月 18 日 (金) ~20 日 (日) (第 68 回日本心臓病学会学術集会)

(3) 循環器疾患看護研究助成

(1,000 千円)

【研究テーマ】自由課題 (循環器疾患看護に関する研究)

【応募数: 9 課題】

	研究課題	研究者	所属・職名	助成交付額
1	維持期心臓リハビリテーションの継続に向けた心疾患患者の主体的な効果感に関するグループインタビュー調査	小國 恵子	兵庫県立姫路循環器病センター 看護部 看護師	200 千円
2	マルファン症候群患者がおかれている医療環境と支援ニーズ	清水 知子	大阪大学大学院医学系研究科保健学 専攻 看護実践開発科学講座 博士後期課程 大学院生	200 千円

	研究課題	研究者	所属・職名	助成交付額
3	学童期の先天性心疾患児における保護者による養育の様相	白石 藍	県立広島大学 総合学術研究科 保健福祉学専攻 看護師 大学院生	200 千円
4	急性増悪を繰り返す心不全患者の急性期から回復期における苦痛の体験の調査	東辻 朝彦	千葉大学 大学院 看護学研究科 成人看護学領域 博士前期課程	200 千円
5	心不全患者の在宅療養継続のための看護師連携ツールの開発研究 -病棟、外来、訪問看護、および介護保険施設看護師間で必要な情報共通シートの作成-	古島 智恵	佐賀大学医学部 看護学科統合基礎看護学講座 講師（特定）	200 千円

《研究発表会開催予定》 令和2年10月11日（日）（第17回日本循環器看護学会学術集会）

2. 指定研究助成

(44,482 千円)

(個別研究)

	研究課題	研究代表者	所属機関・職名	助成金額 助成終了年度
1	血管病変の早期診断治療における画像処理情報技術の向上に関する研究	飯田秀博	奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 客員教授	(継続) 3,000 千円 令和6年度
2	メタボリックシンドロームの動脈硬化症の発症・進展に及ぼす影響に関する基礎的、臨床的研究	野口輝夫	国立循環器病研究センター 心臓血管内科部門 部長	(継続) 500 千円 令和3年度
3	和食の脳保護・脳精神機能改善、及び、肥満・糖脂質代謝へ与える効果の検討	柳本広二	日本BDNF株式会社 研究所長	(継続) 1,000 千円 令和2年度
4	弓部大動脈疾患に対する人工血管置換術とステントグラフト内挿術の比較	湊谷謙司	京都大学大学院医学研究科 心臓血管外科 教授	(継続) 1,800 千円 令和3年度
5	糖尿病・脂質異常症・肥満症など代謝性疾患における心血管腎イベントの発症進展因子の解明と予防法・診断法・治療法の開発	細田公則	国立循環器病研究センター 動脈硬化・糖尿病内科 部長	(継続) 100 千円 令和3年度
6	腹部大動脈瘤ステントグラフトの成功向上に関わる研究	福田哲也	国立循環器病研究センター 放射線部 部長	(継続) 620 千円 令和2年度
7	心不全に対する外科的治療法の開発	藤田知之	国立循環器病研究センター 心臓血管外科 部門長	(継続) 2,000 千円 令和4年度
8	先天性心疾患における遠隔期成績向上を目指した外科治療法の開発	市川 肇	国立循環器病研究センター 小児心臓外科 部長	(継続) 904 千円 令和3年度
9	近赤外線分光法による局所脳組織酸素飽和度の機種比較	吉谷健司	国立循環器病研究センター 手術室 医長	(継続) 458 千円 令和元年度
10	腹部ステントグラフト内挿術における、持続するtype II エンドリークの瘤拡大へ及ぼす影響-予防的塞栓術の必要性に関する研究	松田 均	国立循環器病研究センター 心臓血管外科・血管外科 部長	(新規) 920 千円 令和3年度
11	補助人工心臓装着患者の在宅療養システム構築のための臨床的研究	福嶋教偉	国立循環器病研究センター 移植医療部 部長（臨床栄養部長併任）	(新規) 3,000 千円 令和3年度
12	生体弁機能不全に対する高圧バルーンを使用した Valve-in-Valve 治療に関する研究	小林順二郎	国立循環器病研究センター 病院長	(新規) 3,699 千円 令和3年度
13	血圧および血行動態の日内変動に関する研究	岩嶋義雄	獨協医科大学 腎臓・高血圧内科 学内准教授	(新規) 460 千円 令和2年度
14	近赤外線分光法による局所脳酸素飽和度の精度に関する研究	吉谷健司	国立循環器病研究センター 輸血管理部長	(新規) 700 千円 令和3年度

(多施設共同研究)

	研究課題	研究代表者	所属機関・職名	助成金額 助成終了年度
15	虚血性心疾患における心電図同期 SPECT (QGS) 検査に関する国内臨床データベース作成のための調査研究	西村恒彦	京都府立医科大学 特任(名誉)教授	(継続) 5,201千円 令和3年度
16	急性脳血管症候群登録観察研究 (ACVS registry Study)	内山真一郎	山王病院・山王メディカルセンター 脳血管センター長	(継続) 4,900千円 令和2年度
17	様々な心血管疾患における酸化ストレスの関与に関する基礎および包括的大規模臨床検討	辻田健一	一般財団法人熊本循環器学会 代表理事	(継続) 1,500千円 令和2年度
18	アログリプチンによる糖尿病大血管症の進展抑制効果の検討 Extension Study (SPEAD-A)	綿田裕孝	順天堂大学医学部 内科学代謝内分泌学講座 教授	(継続) 4,010千円 令和3年度
19	シタグリプチンによる糖尿病大血管症の進展抑制効果の検討 Extension Study (SPIKE study)	綿田裕孝	順天堂大学医学部 内科学代謝内分泌学講座 教授	(継続) 3,710千円 令和4年度
20	大動脈解離に対する弓部・下行大動脈のステントグラフト内挿術の中長期成績の検討	松田均	国立循環器病研究センター 心臓血管外科部門 血管外科 部長	(継続) 6,000千円 令和3年度

【2】普及支援事業

(7,597千円)

1. 研究成果発表

(1,393千円)

(1) 研究業績集の発行

(78千円)

前年度の研究助成の成果を研究報告集にまとめて、大学・研究所等へ配布
(指定研究助成：200部発行)

(2) 研究発表会の開催

(1,315千円)

研究発表会を開催し、前年度に実施した公募研究助成の研究成果の発表

	発表会名	開催日時・場所等
1	「バイエル循環器病研究助成」研究発表会	・日時：令和元年9月15日(日)9:40~11:10 ・会場：第67回日本心臓病学会学術集会(名古屋国際会議場) ・テーマ：血栓症とがん
2	「循環器疾患看護研究助成」研究発表会	・日時：令和元年11月3日(日)9:20~10:20 ・会場：第16回日本循環器看護学会学術集会(北里大学白金キャンパス)

2. 移植医療支援等事業

(211千円)

循環器疾患に関する移植医療の円滑な実施のための支援(アグネス基金)

	事業名	開催日時・場所等	助成交付額
1	第17回心臓移植後患者連絡会 (CoCoRo会)	・会長：国立循環器病研究センター・理事長 小川久雄 ・会期：令和元年11月30日(土)11:00~16:00 ・会場：国立循環器病研究センター 講堂	211千円

3. 予防啓発活動

(5,993千円)

(1) 小冊子

(5,284千円)

『知っておきたい循環器病あれこれ』の刊行

循環器病予防啓発の小冊子を奇数月に発行し、国立循環器病研究センター、健康保険組合、講演会などで一般市民に配布(5,000部発行)

	タイトル	執筆者		発行日
134	「国循」と「健都」の役割… 新しい医療・研究への飛躍	小川久雄	国立循環器病研究センター 理事長	令和元年 5月 1日
135	増え続ける高齢者の心不全	泉 知里	国立循環器病研究センター 心臓血管内科部門 心不全科 部長	令和元年 7月 1日
136	循環器病治療の麻酔…重要性と進歩	金澤裕子 大西佳彦	国立循環器病研究センター 麻酔科・医師/副院長	令和元年 9月 1日
137	心臓・血管・脳を診る最前線 —画像診断と心臓レプリカの話—	福田哲也 白石 公	国立循環器病研究センター 放射線部 部長 教育推進部・小児循環器内科 部長	令和元年 11月 1日
138	なぜ大切か？循環器病の臨床研究 —目的と患者さんの参加—	北風政史	国立循環器病研究センター 臨床研究開発部・部長	令和 2年 1月 1日
139	循環器病の“ハートチーム”医療	藤田知之	国立循環器病研究センター 心臓血管外科部門・部長	令和 2年 3月 1日

(2) 機関誌『季報』の発行 (216千円)
循環器病に関する情報の提供、財団の情報公開など

(3) ホームページの運営 (http://www.jcvrf.jp) (291千円)
循環器病に関する情報の提供、財団の情報公開、助成事業の公募案内など

(4) 市民健康 (202千円)
一般市民を対象に循環器病予防に関する知識の普及および啓発のために講座を開催

	名称	日時・場所
1	健康セミナー（大同生命 寄付講座）	<ul style="list-style-type: none"> ・日時： 令和2年1月27日（月）14:00～15:30 ・会場： 大同生命 大阪本社 5階 ・演題： 超高齢社会を健康に生きる —血糖値を上げない正しい習慣と糖尿病の最新治療— ・講師： 京都大学大学院医学研究科 糖尿病・内分泌・栄養内科学 教授 稲垣 暢也

(5) キャンペーン
阪神甲子園球場のオーロラビジョン、ライナービジョンで財団のPRと予防啓発を行った。

(6) 共催・後援名義使用
(共催)

	名称	主催者	日時・場所
1	2019年度脳卒中週間ポスター	日本脳卒中協会 理事長 峰松一夫	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年5月25日（土）～31（金） ・全国紙新聞広告等

(後援)

	催し物	主催者	日時・場所
1	第23回国循市民公開講座「新国立循環器病研究センター～次の40年を見据えて」	国立循環器病研究センター 理事長 小川久雄	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年7月12日（金） ・国立循環器病研究センター 講堂
2	第32回 循環器病チャリティーゴルフシンポジウム“あなたの身近に潜む「心不全」～その予防と治療法～”	讀賣テレビ放送株式会社 代表取締役社長 大橋善光	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年9月29日（日） ・国立循環器病研究センター 講堂

	催し物	主催者	日時・場所
3	国循×摂津市×吹田市 合同市民公開講座（第24回国循市民公開講座）	国立循環器病研究センター 理事長 小川久雄	・令和元年10月22日（火） ・国立循環器病研究センター 講堂
4	ナショナルセンター 市民健康講演会	国立循環器病研究センター 予防健診部 部長 宮本恵宏	・令和元年12月2日（月） ・国立循環器病研究センター 講堂
5	第6回心臓移植市民公開講座	第6回心臓移植市民公開講座 実行委員会代表 安斉俊久	・令和元年12月7日（土） ・共済ホール（札幌市）
6	全国生活習慣病予防月間2020及び市民公開講演会	日本生活習慣病予防協会 理事長 宮崎滋	・令和2年2月5日（水） ・日比谷コンベンションホール
7	国循×摂津市×吹田市 合同市民公開講座（第25回国循市民公開講座）	国立循環器病研究センター 理事長 小川久雄	・令和2年2月15日（土） ・国立循環器病研究センター 講堂
8	2019年度心房細動ポスター	日本脳卒中協会・理事長 峰松一夫 日本不整脈心電学会・理事長 野上昭彦	・令和2年3月9日（月） ・新聞広告掲載等

【3】調査研究事業

(232,249千円)

(完成基準)

(221,528千円)

	研究課題	研究代表者	所属機関・職名	事業費 終了年度
1	安定型冠動脈疾患を合併する非弁膜症性心房細動患者におけるリバーロキサバン単剤療法に関する臨床研究(AFIRE)	安田 聡	循環器病研究振興財団研究・技術開発助成選考委員/ 国立循環器病研究センター・副院長	(継続) 152,184千円 令和2年度
2	実地医家を対象とした非弁膜症性心房細動患者の脳卒中および全身性塞栓症に対するリバーロキサバンの有効性と安全性に関する登録観察研究(GENERAL)	草野研吾	循環器病研究振興財団・研究・術発助成選考委員/ 国立循環器病研究センター・部長	(継続) 58,485千円 令和2年度
3	日本における急性心筋梗塞患者の治療および予後の実態調査(JAMIR 前向き研究)	安田 聡	国立循環器病研究センター 副院長	(継続) 10,859千円 令和2年度

(進行基準)

(10,721千円)

	研究課題	研究代表者	所属機関・職名	事業費 終了年度
4	アジア人における慢性心不全患者の心臓突然死発生率および危険因子に関する疫学的臨床研究(ASIAN-HF)	清水 渉	日本医科大学 内科学 主任教授	0円 平成31年度
5	脳梗塞再発高リスク患者を対象とした抗血小板薬併用療法の有効性及び安全性の検討(CSPS.com)	山口武典	国立循環器病研究センター 名誉総長	(継続) 4,016千円 平成31年度
6	非弁膜症性心房細動患者の急性脳梗塞/TIAにおけるリバーロキサバンの投与開始時期に関する観察研究(RELAXED)	峰松一夫	循環器病研究振興財団研究・技術・開発助成選考委員/ 医療法人医誠会・理事（臨床顧問）	(継続) 6,705千円 令和2年度